

調 査 名 第3給食センター事業予定地

ボーリングNo 5 0 3 0 2 2 8 3 0 0 1

事業・工事名 地質調査業務委託

																		_			<i>></i> –	1 110				
ボ	را –	リン	グ名		N	o . 1		調査位置		福岡市	西市	区今宿青	木字	廣石	南 1 0	42番	2 ,	1042	2番4		北	緯	33°	34'	02.	2023"
発	注	機	と 関		福岡	市教育	育委員?	会 教育	支援	部		調査期間	平成	29年	11月	17日	~ ;	29年	11月	17日	東	経	130°	17'	20.	5343"
調	查	業者	者 名	株式会社電		フォーメ-) 9 2 - 5 6 7	- ション - 7030)	主任技師	i 松	崎 秀 俊	发	現 場 代 理 人	松	崎 秀	发	コ 鑑定	ア 者	松	崎 秀	俊	ボ-! 責 (Jング 任 者		鴨川	健 -	_
孔	П	樗	高	H= 75.80m	角	180° 上	方 270°	比 0° 90°	地盤鉛	. 水平0°	Н	試 錐 機		ΥE	3 M 製	05型	·		ハン ⁷ 落下				半自	動		
総	掘	進	長	5.02m	度	下 0° 0°	西 向 18	東間の南	勾 配 90	水平0° 0° 0°	1 414	エンジン	ヤ	ンマ	— N F	AD-	1 0 컬	型	ポン	プ			GP-	5 型		

R	標	標	層	鬙	深	柱	土	色	相	相	記	孔内					★	漂	準	貫	λ	. i	đ	験				原	位	· 置	計	〕験	試試	料扌	采取	室内	折
R							質		対	対		位	ī "				撃					N		値				77	`				深	趌	採	一記	<u>.</u> ל
(m) (m) (m) (m) (m) (m) 図 分 調 度 度 事	尺	高	厚	孠	度	状	X		密	稠		1	·	H		20	数 /					_	•					度	1			\	度				
1	(m)	(m)) (m	m)	(m)	図	分	調	度	度	事	定月	<u>.</u>	n) 1		1	ᇫ	0		40		00			0	40	,	(m	$\left \right $				(m)				_
	3	3				+ +	崗 岩 ・ 軟				試料は長さ5~25cmの短棒状コアで 採取される。 岩質は概ね新鮮、硬質で、ハンマー の普通打撃もしくは、強打撃で割れ る程度の硬さを有し、軟岩~中硬岩 クラスをなしている。 現在、No.1周辺を標高75~80m間を 造成掘削中で、中硬質な岩が厚く分 布するため、リッパ付ブルドーザー でも掘削があまり進まない状況であ	11/1 0.9 ———————————————————————————————————	17 (0 1 1 1 2 2 2 3 3	000 000	50 3 50 2 50 2 50 2		50 3 50 2 7 50 2 7 50 2 7	750 750		10		20		3	0	40		0 \					-				1 1

調 査 名 第3給食センター事業予定地

ボーリングNo 5 0 3 0 2 2 8 3 0 0 2

事業・工事名 地質調査業務委託

ボーリング:	K N (0.2	調査位置	福岡市西	区今宿青	木字廣石南	j 1 0 4 2 番 2 , ′	1042番4	北緯	33° 34'	03.0238"
発 注 機 「			会 教育支持	爰部	調査期間	平成 29年 1	1月 13日 ~ 2	29年 11月 13日	東 経	130° 17'	22.2624"
調査業者:	株式会社ジオフ電話(0	フォーメーション 92-567-7030)	主任技師	松崎秀俊	現 ポ 場 代 理 人	松崎秀俊	コア	松崎秀俊	ボ-リング 責 任 者	鴨川	健一
孔口標	H= 角 75.35m	180° 方 方 上 90° 270°	比 0° 地	使 织水平0°用	試 錐 機	東邦地	下製D0-D型	ハンマー 落下用具		半自動	
総掘進	ē 6.02m 度	下 0° 向 18		亚	エンジン	ヤンマー	- N F A D - 1 O		E	3 G - 3 C 型	

標	7	標	層	深	柱	土	色	相	相	記	孔内						標	準	貫	λ	試	験			原	位	置詞	式 験	試試	料拐	€取	室内	掘
		<u>.</u>	_	,	d b	質		対	対		水 位 (m	<u> </u>			との 回 数	事回					N_	値			深	試 お	験 よび#	名結果	深	試		試験	進
尺 	'	高	厚	度	状	X		密	稠			´ 」 	ξ 0 .		20	貫									度				度	番	取方		月
(m)	((m)	(m)	(m)	図	分	調	度	度	事	月日	1				入 量 (cm)	0		10		20	3	30 4	.0 50	(m)				(m)	号	法	_	日
		73.55	1.80	1.80	000000000000000000000000000000000000000	盛土・礫質土	褐灰	中ぐらい		敷地内を造成した盛土。 65~50m程度の礫を主体とし、礫 間はマサ起源の砂を充填する。 含水量が少ない。 孔壁は崩れやすく、深度2mまでケー シングによる保孔を要した。	11/1 1.8 ——————————————————————————————————	1.1 13 0 1.4 = 2.0	5 50		4	11 30 50 7	11		•														
	3 4				+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	花崗岩・	淡褐灰			試料は礫状~短柱状コアで採取され、ハンマーの軽打で割れる程度の硬さをなし、軟岩クラスに相当する。 掘削時にはダイヤモンドビットを使用した。		3.0 3.0 4.0 4.0	50 10 2 12 50 10 3))		50 2 50 3	-214 -750 -500							→ →	* -				_				Jummuhmmh
	5	69.33	4.22	6.02	+	軟 岩 	灰			深度3m以深は、長さ20~30cm程度の 棒状コアで採取される。		5.0 5.0 6.0	50 3 3 50 10 2)		50 3 50 2	-500 - -750 -								•				_				11/11/13/14

調 査 名 第3給食センター事業予定地

ボーリングNo 5 0 3 0 2 2 8 3 0 0 3

事業・工事名 地質調査業務委託

																				_				I-INO				
ボ	₹ —	IJ	ンク	名		N	o . 3		調査位置	Ī	福岡市	西市	区今宿	青	木字原	百百	有10	42番	2 , 1	0 4 2	番 4		北	緯	33°	34'	04.569	3 "
発	š ;	È	機	関		福岡	市 教	故育委員	会 教育	支	援 部		調査期	間ュ	平成 2	9年 1	1月	14日	~ 2	29年 ′	1月	15日	東	経	130°	17'	18.609	3"
調	自查	î 業	€ 者	名	株式会社	上 ジ オ 電話 ((フォー>	メーション 7-7030	/ 主任技能	Ŧ	松崎秀像		現 代 理	場人	松崎	· 秀 俊	Ž	コ 鑑 定	ア 者	松山	奇秀	俊	ボー 責	リング 任 者		田中	克 博	
孔	L [標	高	H= 75.40m	角	180° 上 90	方 0° 270	北 0° 90°	地 盤	_{\$л} 水平0°	l ATI	試 錐	機	東	邦 地	下集	븯D0-	D 型		lン。 §下月				半自	動		
総	ŧ ŝ	掘	進	長	5.02m	度	下 0° 0°	西	東 180°南	勾配	新水平0° 直 20° 0°	太幺幺	エンジ	ン	ヤン	ノマ -	– N F	AD-	1 0 型	<u>1</u>	ťン	プ		Е	3 G - 3	3 C 型		

標	標	層	深	柱	土	色	相	相	記	孔内	,					標	準	貫	入	訂	大 験			原	位	נֿ ל	置言	式 験	試丬	料扌	采取	室中	掘
	뇸	E	œ.	44	質		対	対		水 位 (m	. "	`	Ocmこ 丁撃		撃					N	• 1i	直 -		³	·	試 お。	験 にび	名結果	深	試料		室内試験	進
尺	高	厚	度	状	区		密	稠		/ 測 定	度	Ŧ	0 10		数/貫入									厚	¥	/			度	番			月
(m)	(m)	(m)	(m)	図	分	調	度	度	事	月 月	,	1) 1	10 20	30	를	0)	10)	20		30	40	₅₀ (n	ו)	\			(m)	号	法	_	日
1	75.20	0.20	0.20	+ +	盛土・硝 質土	樂褐灰			径2~30mm程度の礫を主体とする。	11/1 0.90	.5	00	50		50 6	050																	
2				+ 111111 + 111111 + 111111 + 111111 + 1111111	花				長さ5~15cm程度の短棒状コアで採取される。 試料はハンマーの軽打で割れる程度 の硬さを有し、軟岩クラスをなす。		2.0	06	50 4		50 4	-250																	11 14
3				+	岩・	淡褐			の硬さを有し、軟岩クラスをなす。		3.0	00	50		50 3	500								→					_				
4				+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +	軟岩	灰 					3.0	00	50		50 2	750								→									
	70.38	4.82	5.02	+ 4							5.0	00	50		50 2	750								→									11 - 15 -
											5.0)2																					

調 査 名 第3給食センター事業予定地

ボーリングNo 5 0 3 0 2 2 8 3 0 0 4

事業・工事名 地質調査業務委託

ボ	– !	ノン	グ名		N	o . 4		調査位置	Ì	福岡市	西市	区今宿青	木 字	廣石	南 1 () 4 2 番	2 ,	1 0 4	2番4		北 絲	⊉ 33°	34'	05.4	662"
			と 関		福岡		育委員	会 教育	支	援部		調査期間	平成	29年	11月	15日	~	29年	11月	16日	東級	₹ 130°	17'	20.8	3949"
調	查	業 :	者 名	株式会社	ジオ: 『話 (0	フォーメ 92-567	ーション - 7030)	主任技能	ħ	松崎秀係		現 場 代 理 人	松	崎 秀	俊	コ 鑑定	ア 者	松	崎 秀	俊	ボ-リンク 責 任 者	Ť Ť	田中	克博	İ
孔		標	票高	H= 75.00m	角	180° 上 _{90°}	方 270	北 0° 90°	地盤	_{\$π} 水平0°	l m	試 錐 機		東邦均	也下氧	製 D O -	D 型	Ī	ハン ⁷ 落下			半月	自動		
総	掘	追	長	14.02m	度	F O°	西 向 1	取 80° 南	勾 配	水平0° 当 直 0° 0°	太红红	エンジン	ヤ	ソマ	— N	FAD-	103	型	ポン	プ		BG-	3 C 型		

		₹ 柱	±	ᅵ	色	相	相	記	孔					標	準	貫	λ	試 験	Ì.		原	位	置試	験	試米	斗 採	取 :	室	掘
尺高厚	度	基 状	鱼			対密			水位 (m) / 測	深) 度	打 9	mごとの 撃 回 数 10 20	手回数/貫				N	fi	直		深度	試 お /	験 よび糸	名	深度	試:料工	採 ; !	_	進月
(m) (m) (m) (m) 図	5.	}	調	度	度	事	定月日		10	20 30	入 量 (cm		0	10	2	20	30	40 50	(m)				(m)			_	日
1 2 2 3 4 4 5 5 6 6 7 7 6 6 5 .00 10. 11 11 12 12 13 14 60.98 4.	00 10	0.00 ++++++++++++++++++++++++++++++++++	盛士・磯渇しじ砂	こ、巣毛ブラウ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	茶褐~褐灰	緩い~ 中ぐらい		基盤の花崗岩の風化土(マサ)を材料とする盛土。 粒径不均一な砂を主体とし、径2~5 0m程度の礫を混じるほか、所々に径50~70mmの礫を含む。部分的に礫が密集する箇所が認められ、層相は不均質である。 孔壁はがなり、深度4.8~5.6m間は、シルト質砂よりなり、礫分をほとんど含まない。深度4.8~5.6m間は、シルト質砂よりなり、礫分をほとんど含まない。深度5.6~7.5m間は、所々に木片を含む。 岩盤面より概ね硬質で、試料はハンマーの軽打で割れる程度の硬さをなす。 試料は、礫状もしくは、長さ5~10cm程度の短棒状コアで採取される。	11/16 6.50	1.1 1.4 2.1 2.4 3.1 3.4 4.1 5.1 5.4 6 6.1	5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	6 7 3 2 7 5 5 4 4 4 7 6 2 3 5 14 11 11	18 30 10 30 222 30 15 30 12 30 18 30 7 30 22 30 35 30 50	18 10 22 15 12 18 7 22 35 150 300 300 500				•	30		5.30		カ水平車 4.151MN/						1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

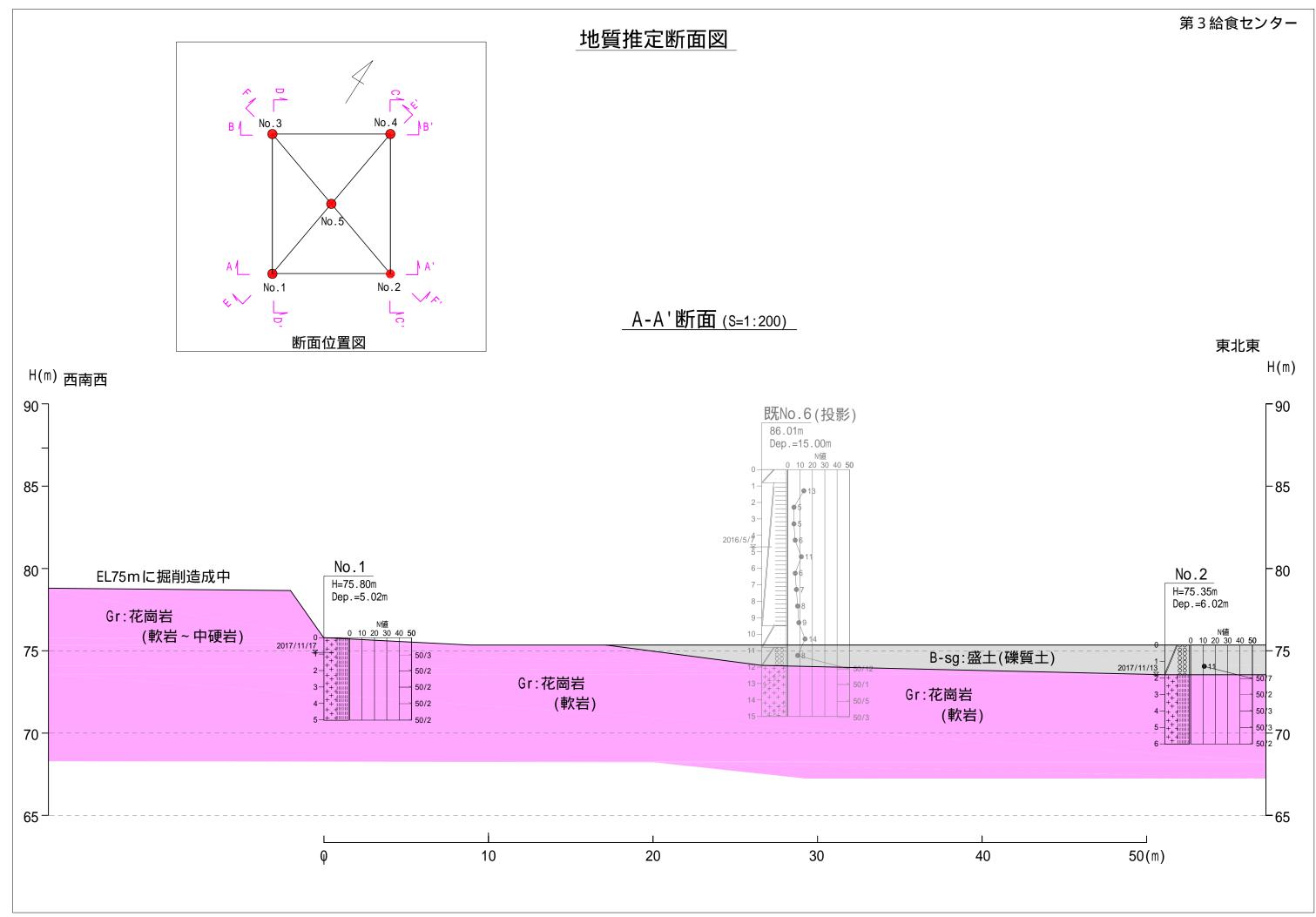
調 査 名 第3給食センター事業予定地

ボーリングNo 5 0 3 0 2 2 8 3 0 0 5

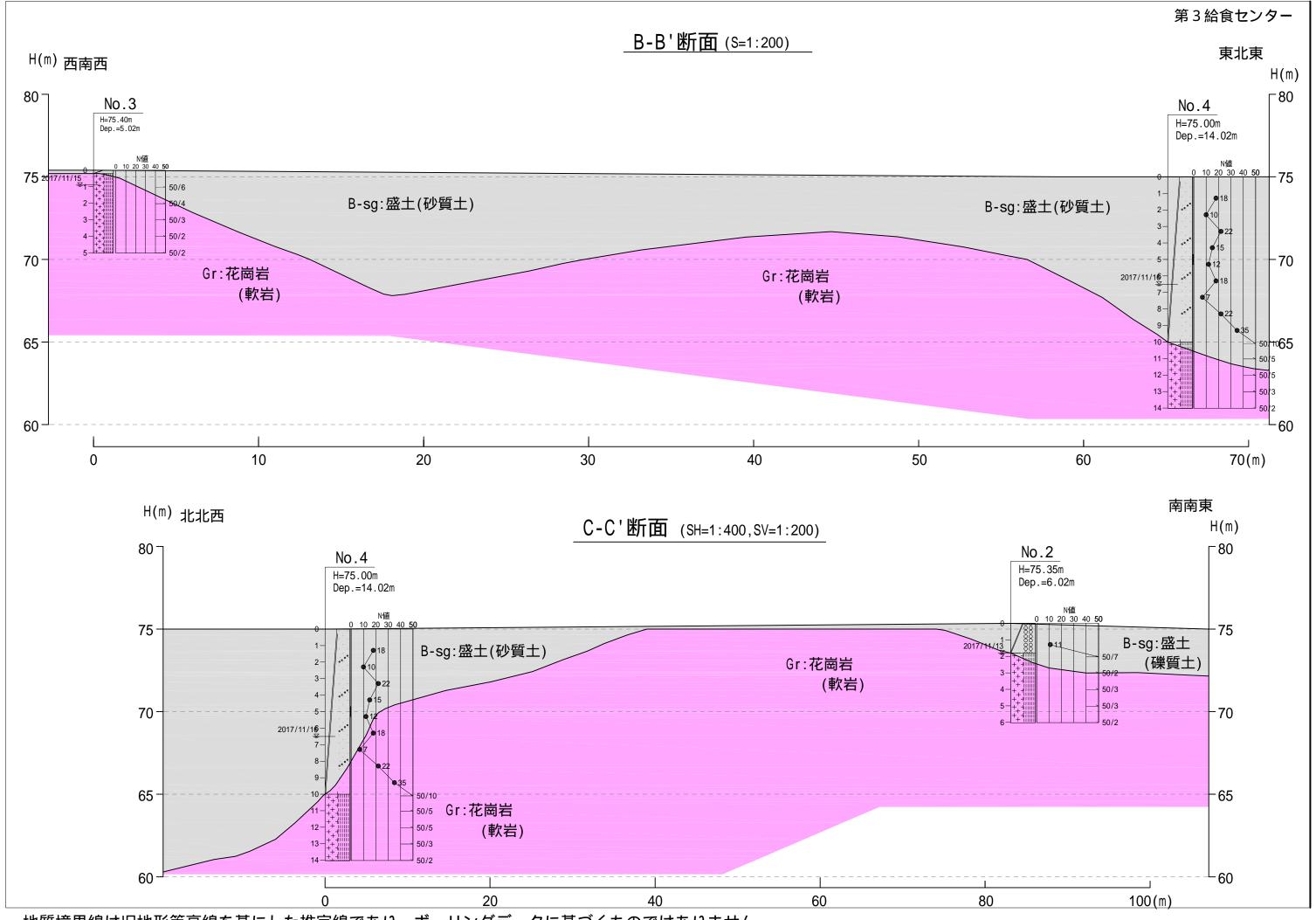
事業・工事名 地質調査業務委託

ボーリンク	ブ名	N c	o . 5	調査位置	福岡市西	区今宿青	木字廣石南10) 4 2 番 2 ,	1042番4	北緯	33° 34' 03.8149"
発 注 機	関	福岡	市教育委員	会 教育支	援 部	調査期間	平成 29年 11月	14日 ~	29年 11月 14日	東 経	130° 17' 20.4889"
調査業者	名	株式会社ジオフ 電話(0:	7 ォーメーション 92 - 5 6 7 - 7 0 3 0	主任技師	松崎秀俊	現 場 代 理 人	松崎秀俊	コア鑑定者	松崎秀俊	ボ-リング 責 任 者	田中克博
孔 口 標	高	'' /13	180° 方 上 90° 270	北 0 地	使 47.水平0°用	試 錐 機	東邦地下		ハンマー 落下用具	,	半自動
総 掘 進	長	5.02m 度	下	90° 盤 勾 駅 勾 配	が平0° 用 直 の° 種	エンジン	ヤンマーNF	F A D - 1 O ∄	型 ポンプ	E	3 G - 3 C 型

標	標	層	深	柱	土	色	相	相	記	引内	7					,	標	準	貫)	Ì	式	験			原	位	置;	式) 試	料	採目	X 3	室	掘
					質		対	対		力 位 (m				mごと	数	美回					N		値			深	試 お	験 よび	名 結 果	///		式 打		室内試験	進
尺	高	厚	度	状	X		密	稠		川 川 江	/ []] [5	复	0	10	20	数 / 貫										度			,	度	:	科 耳 番 ブ			月
(m)	(m)	(m)	(m)	図	分	調	度	度	事	月 月 日	∄ ,	n)				入 量 (cm)	0		10)	2	0	30	40	50	(m)			,) (m)) -	号	토 -	_	日
	75.1	5 0.6	0 0.6		盛土・福	業黄褐			マサ起源の砂を主体とし、径2~50mmの礫を混じる。				50			50																			
2 3 4 5 5	70.7	3 4.4	2 5.0	+++++++++++++++++++++++++++++++++++++++	花崗岩・軟岩	淡褐灰			試料は礫状、もしくは長さ10~40cm 程度の棒状コアで採取される。 試料は、ハンマーの軽打または普通 打撃で割れる程度の硬さを有し、軟 岩クラスに相当する。	11/ 2 <u>.c</u>	1. (14 (14 (14 (14 (14 (14 (14 (14 (14 (14	00 10 00 03 00 02	50 7 50 50 50 3 50 2 50 2			50 10 50 3 50 2 50	214 - 150 - 500 - 750 -								→ →										11/11/11/11/11/11/11/11/11/11/11/11/11/

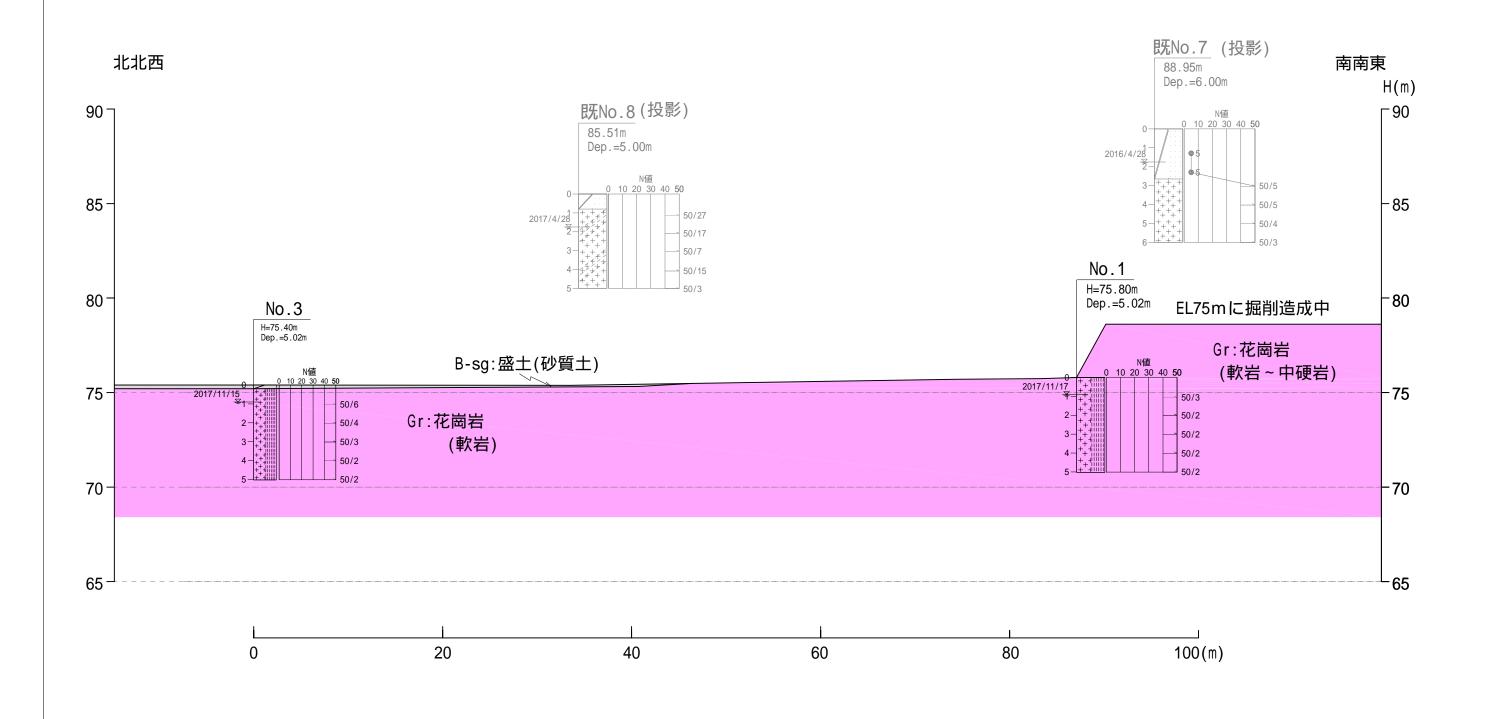


地質境界線は旧地形等高線を基にした推定線であり、ボーリングデータに基づくものではありません。



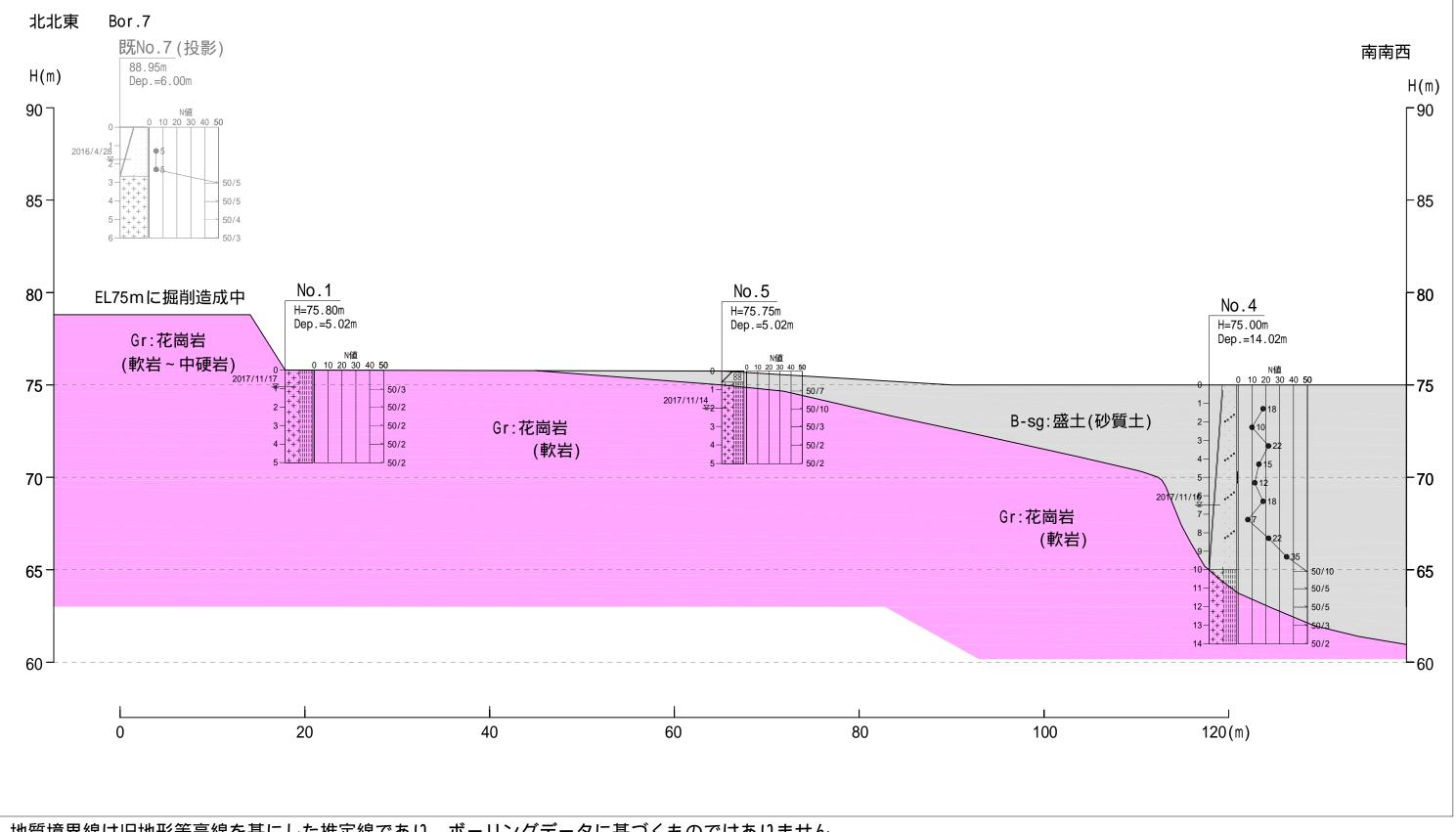
地質境界線は旧地形等高線を基にした推定線であり、ボーリングデータに基づくものではありません。

D-D'断面 (SH=1:400,SV=1:200)

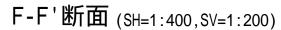


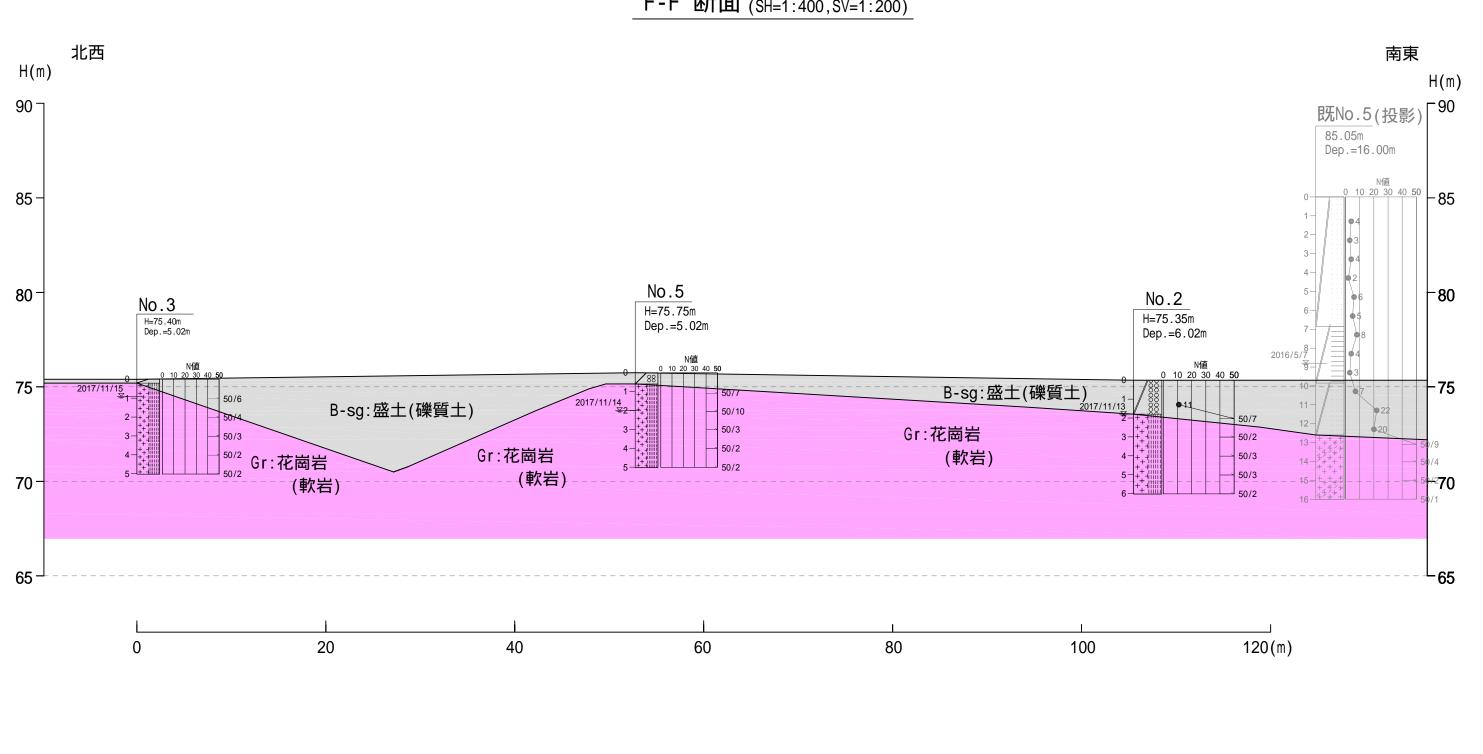
地質境界線は旧地形等高線を基にした推定線であり、ボーリングデータに基づくものではありません。

E-E'断面 (SH=1:400,SV=1:200)



地質境界線は旧地形等高線を基にした推定線であり、ボーリングデータに基づくものではありません。





地質境界線は旧地形等高線を基にした推定線であり、ボーリングデータに基づくものではありません。